

令和年度全国学力学習状況調査の結果

京都市立太秦中学校

4月18日に、本校3年生217名（受験者204名）を対象に実施された「全国学力調査」についての結果分析を御報告します。本調査は国語・数学・英語の3教科のテストと同時に、家庭での過ごし方や学習時間を問う調査も実施されており、生活習慣と学力との関係など、本校の子どもたちの状況をお伝えします。

総合結果（国語・数学・英語）

【国語】【数学】【英語】の学力調査を実施しました。3教科ともに京都府平均正答率及び、全国平均正答率を上回る結果でした。

今年度の調査より、すべての教科において知識・活用を一体的に問う問題形式となつたため、従来のAB区分がなくなりました。

英語では、初めて「話すこと」の力が問われる調査がコンピュータールームで個別のヘッドセットマイクを使って行われました。

国語科

「話すこと・聞くこと」の領域が全国の平均正答率を下回る結果となりましたが、他の三つの領域では上回る結果となりました。

「話すこと・聞くこと」では、「話し合いでの発言についての問い合わせ適切なものを選択する」問題と、「話し合いの流れを踏まえ自分の考えを書く」問題の正答率が低くなっています。両問とも話し合いの内容が関連した問題ですが、会話の中で重要な情報を聞き分けたり内容を理解したりする力が弱いと思われます。聞き取り問題の他に、普段の授業においても話の内容を正確に聞き取っているかを確かめしていくように心がけていきます。

「書くこと」では、どの問題に対しても正答率は高い数値でした。普段の授業中の取り組みや課題などで書く習慣がついているものと思われます。ただ、課題によっては出来・不出来が大きいものもあるので、引き続き取り組んでいきます。

「読むこと」では、文章や設問に対して正確に読み取れています。普段の授業から文章を読み正確に読み取ることを意識していますので、今後も継続して行っています。

「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、表現に関しての問題の数値が低い結果となっています。定期試験や学習確認プログラムでも国語の表現技法や漢字の読み書きが苦手としている生徒が多いので、授業内で時間を確保して何度も反復演習して身に付けさせようと考えています。

各領域において、苦手としている部分はなるべく時間を確保して取り組み、得意な部分は継続して伸ばしていくように普段の授業を大切から一つひとつ心がけていきたいです。



数学科

図形分野の証明の苦手意識が高い生徒が多いにもかかわらず、「図形」の範囲の正答率が高い結果となりました。特に、「四角形 ABCD がどのような四角形では $AF=CE$ になるのかを説明する」という問題が全国平均と比べて約 9% 上回りました。生徒の多くは証明を書くことに苦手意識はあるのですが、面倒がることなく懸命に証明に取り組もうと努力していたため、結果に繋がったのではないかと考えます。

「関数」の範囲は、全国平均は上回りましたが、京都府平均は下回る結果となりました。特に「反比例の表から式を求める」という問題が下回っており、グラフを式に直したり、グラフから事象を読み取ったりする練習が必要であることがわかりました。

この学年の生徒が苦手な分野であった「数と式」の分野ですが、計算問題がすべての基礎であるという事を意識するようになり、懸命に練習するようになったため正答率が全国平均・京都府平均とほぼ変わりがない状態まで成長しています。

しかし、まだまだ弱いのは正負の数の四則演算の範囲です。難しい問題ではないので、改めて見直し、簡単な間違えをしないように気をつけていくことが重要になります。

皆さんには、面倒がることなく懸命に取り組む力があるので、計算分野もどんどん伸ばしていきましょう。



英語科

「話すこと」の調査では全国の平均正答率を大幅に上回る結果でした。特に「与えられたテーマについて考えを整理し、まとまりのある内容を話すことができる」という問題は約 20% 正答率を上回りました。内容が「将来の夢」で、2年生のときに A L T の先生と話したり、まとまりを意識して書いたことという経験もあるので、話しやすかったように思われます。

「聞くこと」でも全国・京都府の平均正答率を大きく上回っていましたが、「話の展開に合わせて示す絵を並び替える」という問題の正答率は少し低かったです。ある程度まとまった英語を聞いてその内容を捉えるトレーニングが必要だと思われます。

「書くこと」では「食糧問題について書かれた資料を読んでその問題に対する自分の考えを書く」「会話が成り立つように英文を書く」「与えられた情報に基づいてある女性を説明する英文を書く」「比較してどちらがよいか理由とともに意見を書く」など様々な問い合わせましたが、どの問題にも何とか伝えようとすると粘り強さや意欲がみられました。日頃から、「学習したことを使ってまとまりを意識して英文を書く」ということを繰り返していくことが大事です。

「読むこと」では、書かれている内容そのものを理解する問題に比べて、概要や要点を捉える問題の正答率が低かったです。これから受験対策で多くの英文に触れていきます。おおまかな内容や要点を理解するということも意識して授業を展開していきたいと思っています。苦手意識のある人も多いかもしれません、粘り強く取り組んでいきましょう！

全国調査は、子どもたちの学習状況を知り、子どもたちの可能性を更に伸ばしたり、課題を解決したりしていくためのものです。結果が学力の全てを表しているのではなく、順位を競うものではありません。学力は、学校・家庭・地域での地道な積み重ねにより定着していくものであり、望ましい生活習慣や日々の学習習慣がその基盤となります。今回の本校の結果には、ご家庭での子どもに対する積極的な関わりや指導・支援の成果が表れています。引き続き、子どもたちの健やかな育ちと環境づくりにご協力ををお願いいたします。

生徒質問紙調査から

国語・数学・英語の学力調査と併せて、基本的生活習慣・規範意識及び自尊感情などについてのアンケートがありました。

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1 : 当てはまる | 2 : どちらかといえば、当てはまる |
| 3 : どちらかといえば、当てはまらない | 4 : 当てはまらない |

質問番号	(1) 朝食を毎日食べていますか			
選択肢	1	2	3	4
貴校	83.8	8.3	5.4	2.5
京都府（公立）	79.7	11.9	5.9	2.4
全国（公立）	82.3	10.8	4.9	2.0

○朝食を毎日食べている生徒が多いです。

質問番号	(2) 每日、同じくらいの時刻に寝ていますか			
選択肢	1	2	3	4
貴校	31.9	48.0	16.2	3.9
京都府（公立）	33.8	43.5	18.3	4.3
全国（公立）	33.6	44.4	17.8	4.2

質問番号	(3) 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか			
選択肢	1	2	3	4
貴校	51.5	41.7	4.9	2.0
京都府（公立）	54.4	37.5	6.5	1.5
全国（公立）	57.0	35.8	6.0	1.2

○よいところがあると自信を持って言える生徒が少ないです。

質問番号	(10) 難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか			
選択肢	1	2	3	4
貴校	13.7	49.0	32.4	4.9
京都府（公立）	20.3	47.8	26.7	5.1
全国（公立）	22.5	47.8	25.0	4.6

○難しいことに挑戦している生徒が少ないです。

○就寝時刻にはらつきが見られますが、起床時刻は同じ生徒が多いです。

質問番号	(8) 将来の夢や目標を持っていますか				
選択肢	1	2	3	4	5
貴校	34.8	24.5	28.9	11.8	
京都府（公立）	40.8	25.8	19.5	13.8	
全国（公立）	44.9	25.6	17.9	11.5	

○将来の夢や目標を持っている生徒の割合が全国平均と比べて低いです。

質問番号	(12) 学校に行くのは楽しいと思いますか			
選択肢	1	2	3	4
貴校	43.1	41.7	10.8	4.4
京都府（公立）	43.1	37.7	12.5	6.5
全国（公立）	45.7	36.2	12.0	6.0

○多くの生徒が学校に行くことが楽しいと思っています。

質問番号	(9) ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか				
選択肢	1	2	3	4	5
貴校	61.8	30.4	5.9	2.0	
京都府（公立）	74.3	19.3	4.6	1.8	
全国（公立）	75.6	18.3	4.4	1.6	

○多くの生徒が最後までやり遂げる喜びを感じています。